

## 3年間(2007-2009)の地質の調査研修を振り返って(8) 研修の様子5:最終日の見学先アラカルト+修了証書(第5日目)

＜関連地質現象の広域的な観察と修了証書受領＞



a. 嶺岡層群(嶺岡構造帯)中の層状石灰質チャートブロック. 白滝神社裏の白絹の滝(鴨川市上小原). 2007年10月.



b. 嶺岡層群(嶺岡構造帯)中の枕状溶岩ブロック. 鴨川市太海の鴨川青年の家(千葉県天然記念物指定). 2007年10月.



c. 房総東海岸の勝浦海中公園の磯に露出する清澄層中部のHkタフ(足元のゴマシオ状凝灰岩). 上位の黒色バンドは、アワオコシタフ. Hkタフは清澄層第一級の凝灰岩鍵層で、三浦半島西海岸からここまで約70km追跡されている. 2008年10月.



d. 勝浦海中公園東隣の吉尾漁港から東に伸びる海蝕崖に見られる清澄層上部の砂岩優勢砂岩泥岩互層. 右側先端部の出っ張りが、黒滝不整合が見られるボラの鼻. 崖の上部に見られる白色凝灰岩は、清澄層上部の高木タフ. 2009年10月.



e. 勝浦市吉尾漁港東方のボラの鼻の黒滝不整合. ここでは、清澄層上部の砂岩優勢互層を黒滝不整合が直接覆っており、房総中部の猪の川本流沿いで見られた安野層は、すべて浸食されて存在しない. 2008年10月.



f. 産総研地質調査総合センター代表者名の修了証書受領後、受講者一同で記念写真. 最終日午後、勝浦海中公園にて、参加者は、この他にCPD(土質・地質技術者のための継続教育)40単位も取得できる. 2009年10月.